

第 2 回水道ビジョン検討会

事業者アンケート結果

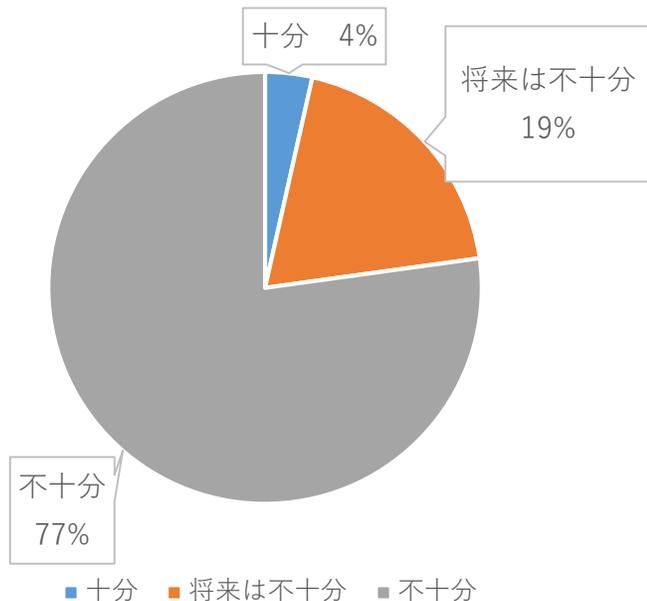
(令和元年 1 2 月実施)

【目次】

- 1 人材の確保・育成について p 2
- 2 施設の健全性維持について p 3
- 3 健全で安定的な経営の確保について p 4
- 4 水道利用者の理解の深化について p 5
- 5 官民連携について p 5
- 6 広域連携について p 6
- 7 台風への対応について p 7
- 8 福島県水道ビジョンでの検討項目について p 7

1 人材の確保・育成について

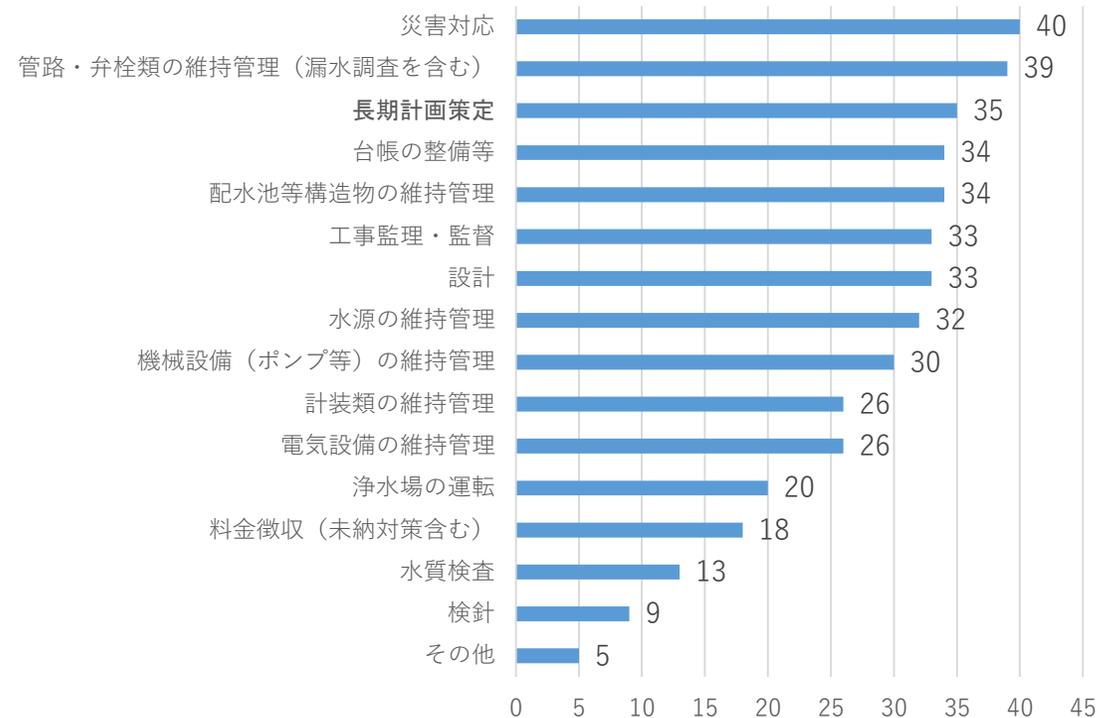
(1) 人材の確保、育成は十分ですか？



(3) 人材の確保・育成のためにどのような対策を行って（検討して）いますか？

- ・ 各種研修への参加。
- ・ 技術者の採用、人員確保の要請。

(2) 人材確保等の不十分な分野は何ですか？



(4) 人材の確保・育成を行うにあたって抱えている（想定される）課題を記入してください。

- ・ 技術や知識の習得に時間を要するが、短期で人事異動してしまう。
- ・ 財源的な問題。
- ・ 業務の民間委託により、職員の知識、経験が増えない。

2 施設の健全性維持について

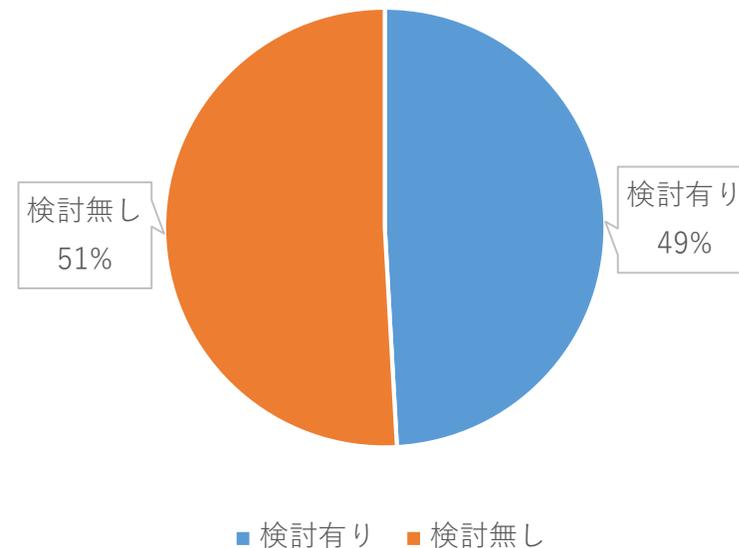
(1) 貴事業体ではアセットマネジメントを実施していますか？

| 30 | 1 実施している（実施タイプについても回答願います） | | | | |
|----|------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 財政収支見通しの 更新需要 見通しの検討手法 | タイプA （簡略型） | タイプB （簡略型） | タイプC （標準型） | タイプD （詳細型） |
| | タイプ1（簡略型） | 3 | 1 | 0 | 0 |
| | タイプ2（簡略型） | 0 | 1 | 2 | 0 |
| | タイプ3（標準型） | 0 | 0 | 22 | 1 |
| | タイプ4（詳細型） | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 27 | 2 実施していない | | | | |

(2) 貴事業体におけるアセットマネジメントの実施又は精度向上に向けた課題を記入してください。

- ・ 人員、人材不足。
- ・ 財源的な課題。
- ・ 基礎となるデータの不足。

(3) ダウンサイジング、施設統廃合等の検討



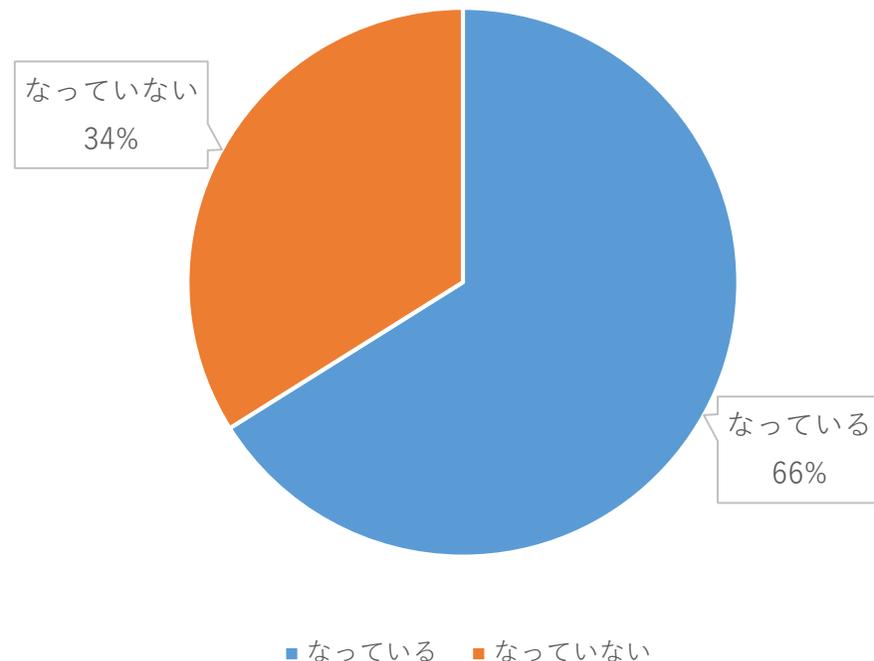
(4) (3)で「1 検討した（検討中を含む）」を選択した場合は実施に向けての課題を、「2 検討していない」を選択した場合は検討に向けての課題を記入してください。

1. 統廃合に向けた財源の見通し、利用状況の見通しが困難。
 - ・ 必要な水量を見極めつつ施設を統廃合する計画が課題。
 - ・ 関係機関との協議、説明など。
2. 検討するための資金面、人材面での不足。
 - ・ 基礎となるデータやノウハウの不足。
 - ・ 災害時のバックアップ体制の確保。

3 健全で安定的な経営の確保について

(1) 水道料金は水道料金は、水道法施行規則第12条の考え方に沿った設定※となっていますか？

※給水原価（施設の計画的な更新のための原資を含む）を基礎とし、合理的かつ明確な根拠に基づいて設定されたもの。



(2) (1)で「2 なっていない」と回答した場合、どのような考え方で水道料金を設定しているのか記入してください。

- 水道料金の設定根拠が不明。
- 住民の理解を得られるか否かが判断基準。
- 施設の維持など総合的な判断。

(3) 供給単価が給水原価を下回っている場合、どのような対策を行って（検討して）いるか記入してください。

- 経費削減。
- 漏水対策などで有収水量を増やす。
- 料金見直しの検討。

4 水道利用者の理解の深化について

(1) 水道利用者に水道についての理解を深めてもらうために行っている取組を記入してください。

- ・施設見学や広報活動の充実を図る。
- ・出前講座の開催。
- ・ホームページの充実。

(2) 水道利用者に水道についての理解を深めてもらうために必要だと考えているが、実施に至っていない取組を記入してください。

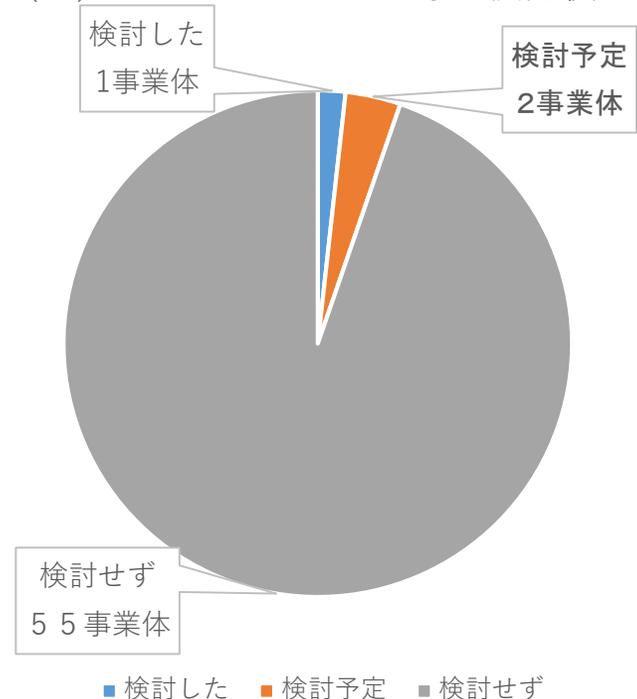
- ・経営状態の公表。
- ・料金の値上げについての検討。
- ・老朽施設の情報。

(3) (2) の取組を実施するにあたっての課題を記入してください。

- ・説明のための資料作成。資料作成のための人員。
- ・近隣市町村の連携。
- ・説明のための基礎データの収集。

5 官民連携について

(1) コンセッション導入検討状況

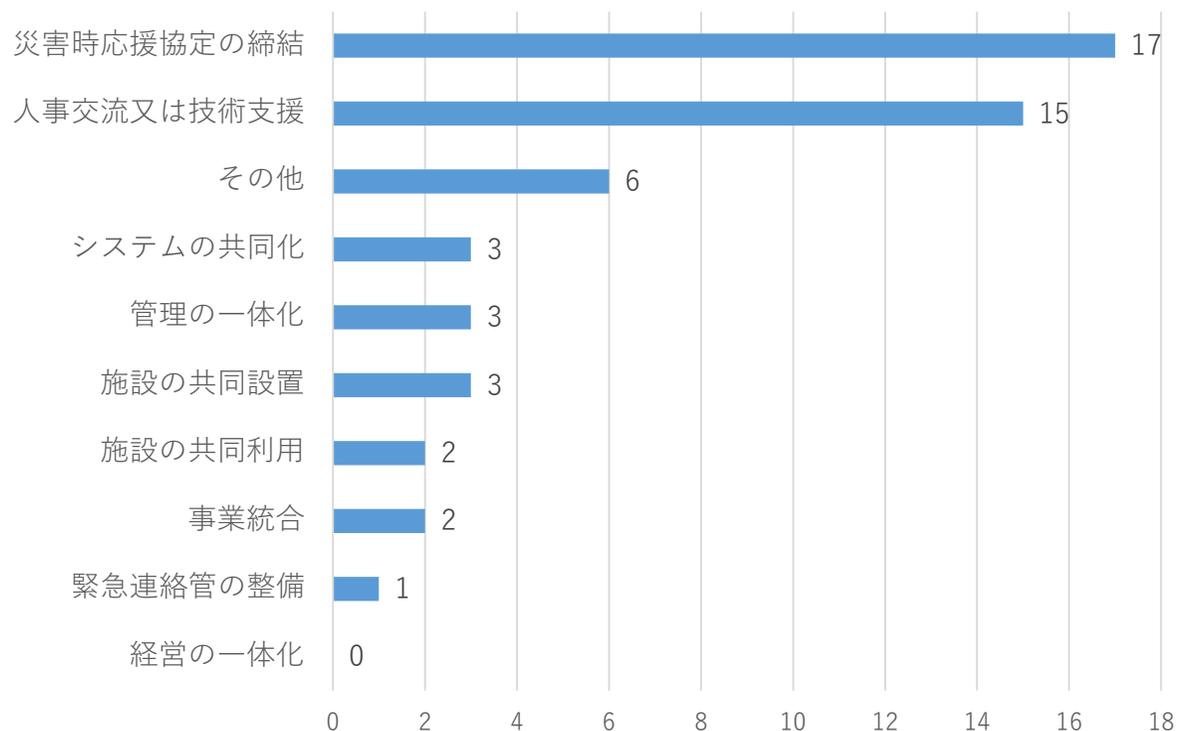


(2) (1) で「1 検討した（検討している場合を含む）」を選択した場合、導入するにあたって想定された課題を記入してください。

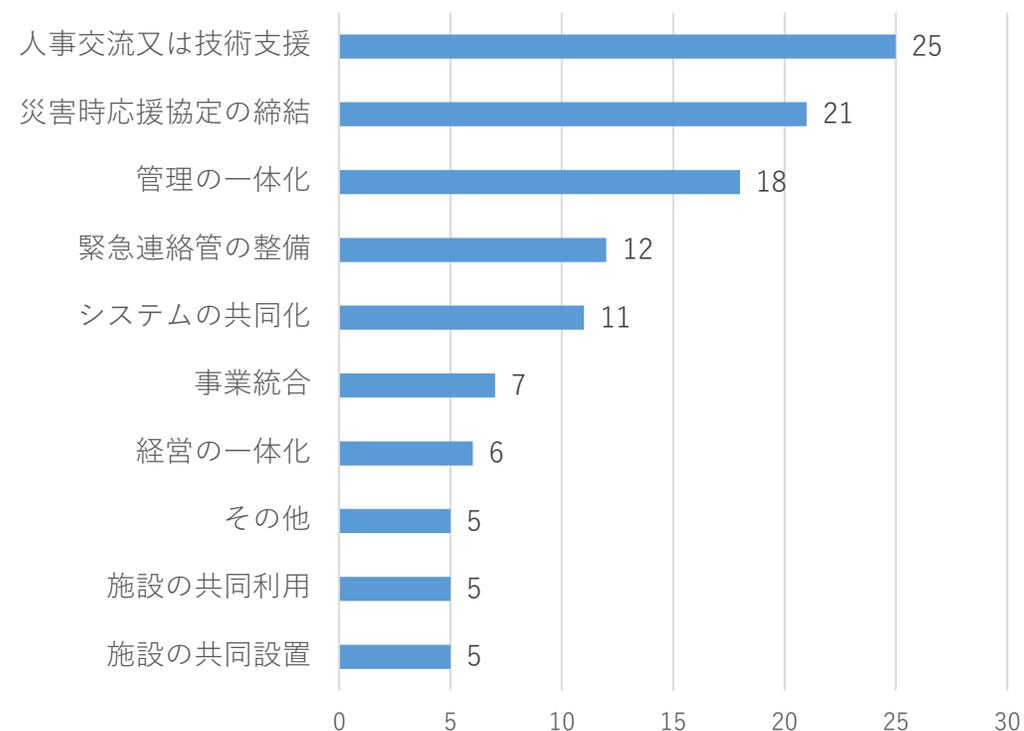
- ・事業規模が小さい自治体では運営する費用と料金収入の折り合いがつかない

6 広域連携について

(1) 基盤強化に向けた現在取り組んでいる広域連携方策



(2) 今後取組可能と考えられる広域連携方策



(3) (2) について、実現に向けての課題を記入してください。

- ・相手方との費用負担等についての協議。
- ・統合を指揮する機関がない。
- ・近隣市町村との情報交換。

7 台風への対応について

(1) 今年発生した台風19号等の対応として、事前に行っていた被害軽減・復旧迅速化方策で実際に効果のあったものを記入してください。

- ・台風到来前に行う施設点検や各種準備。
- ・管路の更新（耐震化等）。
- ・計画的な人員配置。

(2) 台風への対応の中で明らかになった課題を記入してください。

- ・人員不足。
- ・停電対策の不備。
- ・応急給水体制の不備。他市町村との連携を含む。

8 福島県水道ビジョンでの検討項目について

福島県水道ビジョンで検討してほしい項目について記入してください。

- ・広域化に向けた動き。
- ・小規模事業者の将来について。小規模自治体でも可能なビジョンの設定。
- ・県全体の水道の将来像を描いてほしい。
- ・人口減少予測を市町村レベル、地区レベルで行ってほしい。
- ・人材の確保、育成について。
- ・施設の健全性維持について。
- ・地震以外にも台風や大雨災害に対する備え。
- ・料金見直しのルール作り。
- ・広域化推進プランや基盤強化計画につながる内容のものに。
- ・ICT等の活用について。
- ・水道布設にこだわらない給水方法について。